

全国優勝校相手に善戦

なにわ 人模様

8月にあった全国高校軟式野球選手権大会に大阪代表として出場した河南高校を率いる。大会では優勝した東海代表の中原(岐阜)に惜敗したが、晴れの舞台で粘り強さを見せつけた。軟式野球の指導者になって約20年。硬式野球と比べると裾野が広いとは言えないが、

河南高校軟式野球部監督 田中誠二さん(56)＝藤井寺市



「ボールの特性などから 軟式野球との出会いは 大会への出場はかなわな 僅差のゲームが多く、実 八尾高時代だ。兄の友人 力差があっても勝つチャ に誘われるままに 入部 して母校に戻り、その後、 ンスが生まれる。初心者 し、3年時に春の府大会 軟式野球部を任せられた。 にも始めやすい」と魅力 に捕手として出場して優 実戦経験が大事と他府県 勝した。選手として全国 の高校との遠征試合を組 し監督に。ここでも全国

裾野広げ選手に良い環境を

大会出場を目標に、12、2月はボールを使わずに トレーニングで体を作る ことに集中し、3月以降 は広島や岡山、鳥取にも 練習試合のため遠征し た。選手に求めたのが、 自分たちで考える力をつ けることだ。あと一歩の ところで全国大会出場を 逃していたチームに、「自 分で考えろ。監督がこけ たらチームもこけるよう ではだめだ」と言い続け た。

ある時、練習メニューを主将に伝えると、試合が近いので別の練習がしたいと提案された。「伝わっているとうれしい反面、寂しくもあった」というが、手応えを感じた通り、大阪大会決勝では九回裏2死から逆転サヨナラ勝ちという劇的な展開を見せてくれた。34年ぶりの優勝に感極まり、思わずベンチ前で泣いた。

【武内彩】